

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2025年12月

結果公表日：2026年3月4日

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%

保護者様： 24名回答、回答率 88%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・基準以上の職員体制は整えることができている。通所されている児童の特性上、1対1での対応が必要となる場面が多くあり、その分、全体へのケアが不足しないように工夫が必要となる。指導員同士で声をかけあいながら、その時々の子どもの状況を把握し、全体への支援が行き届くよう対応している。
- ・日々の清掃をしっかりと行い、清潔な環境を整えている。活動の中で児童と共に掃除を行うことで、教室全体での美化意識の向上にも努めている。

○業務改善

- ・日々のミーティングを通して、互いの業務の進捗を確認しあい、チームで動いていくことを意識して業務にあたることができている。
- ・支援中においても、指導員同士で活発に声をかけあいながら、職員同士の連携をとって支援にあたることができている。
- ・定期的に評価および上長面談を実施し、業務の達成度をもって課題や目標の見直しを行ったり、チームとしての目標を確認しあう機会を設けている。

○適切な支援の提供

- ・業務後の振り返りは日々実施できておらず、児童の様子や対応についての共有がタイムリーに行えていないことがある。その日のうちに共有が必要な情報共有が漏れないよう、支援後mtgの実施を検討していきたい。

○関係機関や保護者との連携

- ・保護者様とは送迎時や面談時などに密に連携を取ることができており、お子様の様子に変化があった際などには保護者様から相談や共有をいただくことができる関係性も築くことができていると感じている。
- ・関係機関連携においては、児童発達管理責任者が中心となって情報共有を行い、その情報も踏まえた個別支援計画の作成を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・毎月発行しているニュースレターやサービス提供にて、必要な情報を提供したり、児童の日々の様子についての共有を行っている。

○非常時等の対応

- ・毎月実施している避難訓練では、災害にまつわる動画視聴教育やクイズ、避難のロールプレイングなど、様々な方法で、地震・火災・水害等の災害を想定した実践的な訓練を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・教室の壁紙や床を変えたことにより、清潔感を感じることができるようになったとの意見をいただいた。
- ・教室が狭いように感じるとのご意見があった。その一方で「内外を分けていたり、ルールを壁に貼っている、マットを使用して休む空間等を作る工夫を行ってくださっている」との評価もいただいた。
- ・「保護者が気がつかない点をよく見て、褒めてくれることが多くありがたい」という意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・「活動のバリエーションが様々で、本人も楽しんでいる様子が伝わってきます」という意見をいただけた。また、今後より児童の興味を引き付ける活動を企画することへの期待の声もいただいた。
- ・児童発達支援管理者の変更により、療育の質が高まったと感じているとの評価もいただいた。
- ・他機関との交流より、ペアトレーニングや保護者同士の交流を行いたいのご意見もあったため、今後そのような機会を提供できるように検討していきたい。

○保護者への説明等

- ・「困っているときはもちろんのこと、そうでないときにも定期的に家族支援をしていただき、安心です」というお声や「保護者の見立てと施設での見立てをすり合わせて話を行っていただけるのでありがたい」という声をいただいた。

○非常時等の対応

- ・災害に備えた訓練についての支援に満足しているかの質問に対しては、7割の方から「はい」との回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。
- ・災害対応に関するマニュアルの周知については、周知を行っていく必要性を感じた。
- ・怪我をしてしまったときの電話での説明については改善を求めるとのご意見も頂戴した。伝えるべき内容を整理し、どのスタッフでも適切に対応ができるよう改善を図っていきたい。

○満足度

- ・子どもは通所を楽しみにしているかの問いに対しては「楽しみにしている」との回答が多くを占め、満足度が高い結果となった。
- ・「通所予定だった放課後に学校の友だちと遊ぶ予定が入った際にも、遊べるようになったことを成長として理解していただきました。親に対しても気遣いの言葉があり、大切な相談先となっています。」とお声も寄せられた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・保護者様への支援継続。
- ・児童中心の教室作り。（『こども会議』）
- ・スタッフ同士の連携強化、教室内研修の実施による職員全体のスキルアップ

○改善できた点・まだ残る課題

- ・スタッフ間の連携について、年度を通して職員体制の変化もなく、ミーティング以外の場でもコミュニケーションを取りながら業務にあたることができ、深めることができたと感じている。
- ・保護者支援については、家族支援の取り組みを強化することで、保護者様から相談をいただけることも増えている。引き続き、相談しやすい事業所運営に努めていきたい。
- ・児童に意見を聞いたり、会議を行い、その意見をもとに活動プログラムを決めることができ、児童の意見を反映した事業所運営につなげることができた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・児童本人が楽しんで通所することができており、満足度が高いこと。
- ・保護者、関係機関と積極的に情報共有を行い、その内容を支援に結びつけることができていること。
- ・スタッフ間で声を掛け合いながら連携を強化し、スタッフ間での情報共有がしっかり行えていること。

○改善点

- ・事故やトラブル時における説明や対応についての統一化
- ・緊急時や防犯等の各種マニュアルの保護者様への周知
- ・保護者会等、保護者同士のつながりや交流を深める場の定期的な開催

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・定期的に保護者会を実施し、保護者様同士の交流の場を提供できるようにする。
- ・事故やケガ、災害時の対応についてのマニュアルを適宜見直し、教室内での研修を実施することで、緊急時の対応がスムーズに行える体制を維持し続けていく。
- ・緊急時対応について、保護者様への周知を強化し、保護者様の理解を深め、協力体制がとれるようにしていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・半年に1回のペースで保護者参加型の療育や保護者会を実施し、保護者間の交流の場を設けられるよう計画をたて、実行していく。
- ・災害時のマニュアル等を、文書で保護者様に配布し、周知するとともに、保護者会や送迎時などに口頭での説明も行い、漏れなく周知していけるようにする。